



平成 22 年度

SEASON 4

平成 23 年 2 月 8 日

全校児童数

御館小学校・下枝分校 学校だより

文責：校長 松本 学

145 名

黒石みかげ № 40

磨け われらは 黒石みかげ



節分～立春と過ぎ、暦の上ではもう「春」ですが、「春は名のための、風の寒さよ...」です。しかし、気温が高くなる日もあり、来るべき春を感じることも多くなってきました。

さて、来週は、子どもたちが熱心に練習をしている校内なわ跳び記録会があります。健康に気をつけて、頑張ってくださいと思います。

集会活動（豆まき）を行いました。

2月3日（木）「節分」に、恒例の「豆まき集会」を行いました。当日は、大変暖かくなり、朝から、春のような日差しが降り注ぎました。下枝分校の児童も来校して、楽しく「節分」にちなむ児童会行事を行うことができました。

まず、自分の中の悪い鬼を大声で追い出しました。その後、ゲームで楽しみ、「年女・年男」が、豆まきをして終了しました。次の日は、「立春」に相応しく、晴天の気温が高いい日になりました。



【悪い鬼退治の発表】



【鬼の玉入れゲーム】



【年男・年女による豆まき】



【自分で作った鬼のお面を付けて参加】

春の日が優しく降り注ぐ中での「豆まき」は、大変楽しかったようです。分校児童は、分校でも豆まきを行いました

終了後にゴミ拾い等の後始末をする実行委員会児童。これが素晴らしい！！



給食 2 題（鯉 & 節分行事食）

特色ある給食が2日計画されました。1月31日（月）郡山市特産の「鯉」を使ったメニュー、2月2日（水）の節分にちなんだ季節メニューです。



【鯉を使った給食】



○麦ご飯、牛乳、鯉の蒲焼き、ホウレン草と「もやし」のおひたし、凍み豆腐と曲がりネギの味噌汁（1 / 3 1）

鯉は、生の切り身を一度、油で揚げているので、甘い辛いたれがよく馴染み、皮はパリパリで中はジューシーでした。



【節分の季節行事給食】



○豆ご飯、牛乳、イワシのホイル焼き、青菜のおひたし、大根の味噌汁（2 / 2）

豆まきの豆と鰯をメニューにしました。最近、豆まきをするご家庭も減ってきているとか？

本校・下枝分校の調理員さんたちが、心をこめて調理しました。

校長会生徒指導部より（事件・事故の防止）

市校長会では、この１年間の反省を行い、市内児童・生徒のいろいろな事件や事故の事例をまとめ、その傾向が分かりました。お子様へのご指導よろしくお願いいたします。

○不審者事案の傾向

発生時間帯は、１４時以降の下校時間である。

一人で下校する児童に声かけが多い。

ほとんどが路上で発生している。

休日は、公園での発生が多い。等

○交通事故の傾向

帰宅後、休日、休業日の事故多発している。

下校が早い日の事故件数が多い。（１３：００台と１４：００台）

土日の事故が増加傾向にある。

「飛び出し」による不注意が、半数を占める。等

○万引きの傾向

スーパー、コンビニ、で、お菓子やジュースなどの安価なものに手を出す。

ドラッグストア、１００円ショップでの小物万引きも多い。

お金を持参しているにも関わらず、ゲーム感覚で行う。等

○携帯電話利用の問題

無料ゲームサイト等をダウンロードして、いつの間にか有料サイトへと誘導される。

有害サイトへの興味本位のアクセスの結果、知らない内に個人情報の流失がある。

○その他 親の規範意識の低下が見られる。

平日夜の８時過ぎに、親子でゲームセンターで遊んでいる。

万引きの引き取りに來ない。等



海老根和紙で卒業証書！

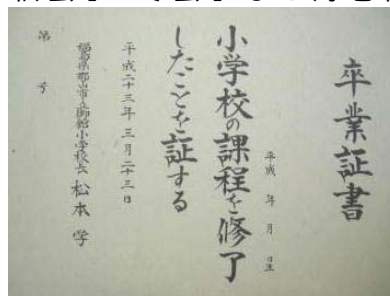
２月７日（月）９：３０～、海老根伝統手漉き和紙保存会事務所（海老根和紙工房）にお邪魔して、「海老根和紙保存会」会長さんの熊田今朝雄さん、事務局長の熊田英重さん、他の方々より、海老根和紙の歴史や保存会の苦労など伺いました。

今年度も６年生への卒業証書を１，０００年も保つと言われる「海老根和紙」で作っていただきました。その感謝の気持ちをお伝えしてきました。

コウゾの皮むき～紙すきの方法まで教えていただきました。大きな和紙を漉ける方は、現在１名しかいないそうです。今年度は、「秋蛭」「冬蛭」など海老根和紙が大変有名になりました。中田町の宝だと思います。



【煮たコウゾの皮むき】
事務局長さん



【会長さんによる紙すき】 【今年度の卒業証書】



インフルエンザ情報 ２月８日現在

本校１名、下枝分校２名の計３名が罹患しております。今後ますます拡大する可能性が大きいので、ご注意下さい。発熱等異常が認められたら、医療機関での早めの受診をお願いいたします。

御館小学校教育目標

《スローガン：みがけ我らは黒石みかげ》

- み：みんなで 助け合う 子ども
- か：かんがえ 伝える 子ども
- げ：げんきに きたえる 子ども

いつも心の中に

